



目次

●リニアック棟竣工式	2
●市民医療フォーラム開催	2
●出前健康講座のご案内	3
●ねっとわーく	
売木村国保直営診療所	4
飯田市立病院からのお知らせ	5
●ゆうゆう「認知症カフェ」	4~5
●ステントグラフト留置術を始めました	6
●情報カプセル	7
肺炎球菌ワクチン	
●職場紹介	7
心臓血管センター	
●新任医師の紹介	8

飯田市立病院 基本理念

私たちは、地域の皆さんの健康を支え信頼される医療を実践します

飯田市立病院 基本方針

- ①私たちは、安全・安心で良質な医療を提供します
- ②私たちは、患者さんの権利と意思を尊重し、患者さんの立場に立った医療を実践します
- ③私たちは、地域の保健、医療、福祉機関と密接に連携します
- ④私たちは、教育・研修機能を高め、医療水準の向上と、職員が誇りややりがいの持てる職場づくりを行います
- ⑤私たちは、公共性と経済性を考慮し、健全な経営に努めます

飯田市立病院 理念行動指針

私たちは、誠意 熱意 創意をもって医療を実践します

リニアック棟竣工式 ～がん診療機能の充実へ～

3/10



3月10日土曜日の午前中、市民医療フォーラムに先立ち、リニアック棟の竣工式を行いました。現行のリニアック装置は導入から20年以上が経過したため更新が必要となり、更新のための空白期間が生じないように施設を増築しました。

当院は、地域がん診療連携拠点病院として、地域の患者さんが安心して質の高いがん治療を受けられるよう体制を整えてきました。新しく導入された装置は最新のもので、より正確な照射が可能になり、これまで以上に患者さんの身体的負担が軽減されます。

市民医療フォーラムを開催しました

3/10



3月10日土曜日、第6回飯田市立病院市民医療フォーラムを開催しました。「飯田市立病院の放射線治療」をテーマに、医師、臨床検査技師、がん放射線療法看護認定看護師が講師を務め、約230人の熱心な参加者にお集まりいただきました。

第1部は「がんと確定診断されるまで」と題し、当院医師と臨床検査技師からそれぞれの立場で「どのような検査を経てがんと診断されるか」「がん細胞とはいったいどのようなものか」などについて、写真や画像を用いながらできるだけわかりやすく説明しました。

第2部はリニアック装置の稼働に合わせて「がん放射線治療」をテーマに講演を行い、講師を務めた医師

から、「全身への負担が少なく、治療の適応となる患者さんが多い点」や「臓器の機能や形態の温存性に優れる」といった放射線治療の特徴について説明しました。

参加者からは、「とても丁寧で分かりやすい説明で、がんがどんな病気かがよく分かった」、「放射線治療については色々分からないことだらけだったが、少し不安が消えた」などの感想が寄せられました。

市民医療フォーラムは毎年3月に実施しています。来年も予定していますので、是非ご参加ください。





出前健康講座のご案内

平成30年度受付開始

当院の職員が、地域の皆さんが集まる場所へ出向き、講座を開催します。
お気軽にご利用ください。



申込者及び費用

- ◎飯田下伊那に在住で、概ね10人以上の参加が見込まれる団体またはグループ（自治会、シニアクラブ、学校、保育所、企業、福祉関係など）
- ◎講座費用は無料。会場、設備使用料は申込者で負担をお願いします。

申込方法

- ◎申込者は、飯田市立病院ホームページから申込書（所定書式）をダウンロードし、必要事項を記入。またはお問い合わせください。
- ◎希望日の2ヶ月前までに、メール、FAX、郵送のいずれかの方法で送付してください。

運営

- ◎会場確保、設営、当日進行は、申込者及び団体で行ってください。
- ◎講座は、およそ1時間を予定し、終了時刻は概ね20時頃までをお願いします。

出前健康講座一覧表（抜粋）

番号	講座名	内容	担当職種
A	正しい薬の使い方	薬の正しい飲み方や服用時間、塗り薬、貼り薬、目薬、粉薬、注射薬等の使用方法について	薬剤師
B	画像検査あれこれ	病院で実施している画像検査（CT、MRI、RI、PET-CT、超音波検査等）について	放射線技師
C	血液検査でわかる病気	血液検査で何がわかるの？ 簡単な検査を実施します。	臨床検査技師
D	生活習慣病予防の食生活	生活習慣病予防の食生活のポイント	管理栄養士
E	高齢者の食事	健康寿命を延ばす食事	管理栄養士
F	家庭でできる感染対策	感染の基礎、予防、手洗い、うがい、マスクの着用	認定看護師
G	日常生活でできる、今日からできるスキンケア	スキンケアについて	認定看護師
H	認知症予防のポイント	食事や運動、脳トレなどの認知症予防のポイント	認定看護師
I	命を救おう！ BLS（一次救命処置）	BLS（一次救命処置）一緒にやってみましょう	認定看護師
J	急変や怪我の対応	外傷や事故、急変時の対応	認定看護師
K	脳血管疾患の予防	家庭で予防できること	認定看護師
L	緩和ケアってなあに？	基本的な緩和ケア。当院を中心に飯伊地区で行われている緩和ケア。	認定看護師
M	「お薬手帳」の使い方	飲み合わせ、重複、副作用、アレルギー等が確認でき、安全に薬を服用するための「お薬手帳」の使い方について	薬剤師
N	糖尿病について知ってほしい事	糖尿病について。3大合併症について。	認定看護師
O	心臓ペースメーカーについて	心臓ペースメーカーや植え込み型除細動器の日常生活での注意点	臨床工学技士
P	家庭でできるキズの手当	創の手当て	認定看護師
Q	乳がんの自己検診	乳がんの早期発見の重要性とその方法	認定看護師
R	がんはどうしてできる？	発がんとかん予防	認定看護師

※この他さまざまな講座があります。新しい講座内容が増えました。詳しくは市立病院ウェブサイトをご覧ください。

● 申し込み窓口・お問い合わせ先

〒395-8502 飯田市八幡町438番地 飯田市立病院 地域医療部 地域医療連携課 地域医療連携係
電話：0265-21-1255 内線2237 FAX：0265-21-1236 メール：renkei@imh.jp



売木村国保直営診療所

(下伊那郡売木村)



売木村にある最小単位の診療所です

売木村国保直営診療所 所長 森田 真次

当診療所の職員は総勢3人(医師・看護師・医療事務員それぞれ1名)という最小単位の診療所で患者さんは慢性疾患で通院中の方が中心です。たった3人の職員ですがチーム医療を実践し住民の皆さんのお役に立てるようにと、健康増進活動・往診・訪問看護・服薬指導・患者さんの送迎などあらゆる方面で日々励んでおります。

売木村は決して交通の便が良いとは言えません。村には遠くの専門的な医療機関まで通院するのが困難なご高齢の方が多く暮らしておられ、様々な病気で診療所を受診されます。

そこでかつて名古屋で、「まるで野戦病院のような病院」と言われた病院に勤務していた経験を生かしてまずは診察させていただいて必要に応じて専門の医療機関に紹介させて頂き病状が安定してきたら再びこちらで経過を診させていただくというやり方で診療しています。そういう意味で飯田市立病院の存在は本当に有難くかつ力強く感じています。

最後になりますが、当診療所では、かつて私が分子生物学者時代に細胞工学を通して身に着けた小器用さを活かし、イボ・脂漏性角化症の液体窒素による

凍結療法などもおこなっていますので遠くの病院まで治療に行く時間がない方は是非お越しください。また禁煙療法も準備中ですので禁煙希望の方はご相談ください。今後ともよろしくお願いたします。



森田先生(右)とスタッフの皆様

所在地	〒399-1601 下伊那郡売木村695 ☎0260-28-2014
診療科目	内科
診療時間	9:00~12:00 / 15:00~17:00 木曜日のみ 10:00~13:00 / 16:00~18:00
休診日	水曜日 土曜日 日曜日・祝日
往診	可
駐車場	あり



介護老人保健施設ゆうゆう「認知症カフェ」のご紹介



ゆうゆうでは、認知症の方やそのご家族が認知症について日頃感じることや不安・悩みについて、情報交換や相談のできる集いの場(通称「ゆうゆうカフェ」)を毎月1回開催しています。

スタッフは日頃より高齢者や認知症の方のケアに携わっているゆうゆうの職員です。認知症ケア専門士や認知症に関する資格を持ち合わせたスタッフもおりますので、個別の相談にも対応させていただきます。

ご利用にあたって、事前予約等は必要ありません。開催時間内であれば好きな時間帯にご利用いただけます。

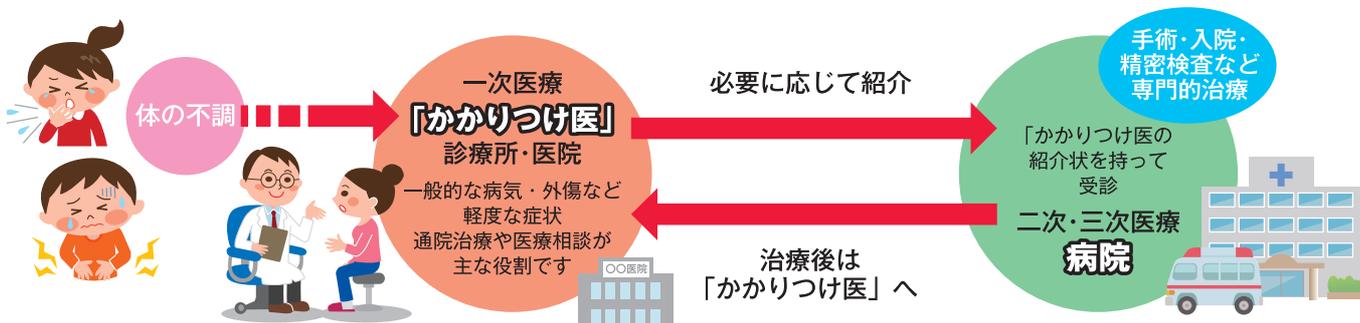
登録医紹介

登録医とは共同診療、検査機器の利用、研修参加などを一緒に行って、より良質な医療を地域の皆様に提供するため、協力いただいている医療機関です。



当院は、救命救急センターにて24時間救急患者の受け入れをしています。また、地域医療支援病院として地域の医療機関との連携や役割分担を進めるため、外来診療では紹介患者さんを優先的に診療しています。専門的な検査や手術、治療に力を注いでいくためにも、紹介状を持参していただきますようご理解ご協力をお願いいたします。

◆体調の変化に気づいたら先ずお近くの「かかりつけ医」へ



◆かかりつけ医を見つけましょう

いつでも気軽に相談に行けて、適切な治療や指導を受けることができる身近なお医者さんを見つけて、健康管理の心強い味方になってもらいましょう。

かかりつけ医の先生は、精密検査や専門治療・高度医療、入院などが必要と判断すれば速やかに、「紹介状（診療情報提供書）」により適切な医療機関を紹介してくれます。

◆私たち一人一人が地域医療を守る「当事者」という意識を

飯田下伊那地域は、医療資源の少ない地域です。住み慣れた地域で安心安全な医療を受けていくためにも、限られた医療資源を私たち一人一人が大切に守っていくという意識を改めて持つことが必要です。

地域内のそれぞれの医療機関が持つ役割と機能をよく理解し、症状に応じた適切な医療機関へかかる習慣を身につけましょう。

当院では、病状が安定している再来患者さんを地域のかかりつけ医（開業医）へご紹介しています。

- 開催日：毎月第4日曜日
- 時間：午後1時～午後3時
- 対象：認知症の方およびその家族・介護者
- 場所：ゆうゆう1階「デイケアルーム」
- 利用料金：1人100円

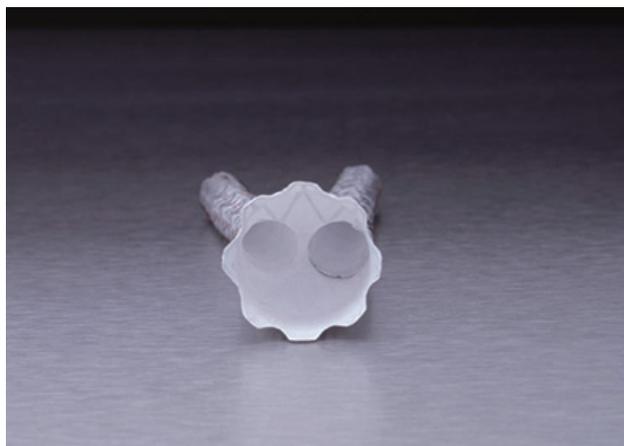
飲み物とお茶菓子をご用意してお待ちしております。どうぞお気軽にお越しいただき、お時間の許す限りお寛ぎください。

平成30年度 開催予定日～		
4月22日	8月26日	12月23日
5月27日	9月23日	1月27日
6月24日	10月28日	2月24日
7月22日	11月25日	3月24日

- 問い合わせ：介護老人保健施設ゆうゆう ☎0265(21)6048



大動脈瘤の新しい治療法、ステントグラフト留置術を始めました 大動脈瘤とステントグラフト留置術のお話

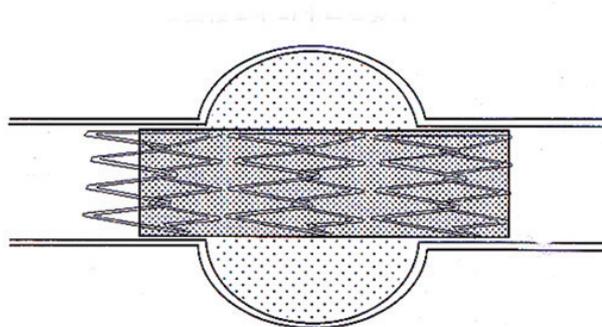


従来、大きな手術が必要であった大動脈瘤の治療法として、ステントグラフト留置術が普及し始めています。去る平成30年2月、当院でも南信地方では初となるステントグラフト留置術を心臓血管外科が中心となり、第一例目を施行しました。患者さんは経過良好で、数日で退院し大変元気になっていらっしゃいます。

心臓からでた大動脈は一旦頭側に走行した後、下行し背骨に沿って走行し、横隔膜を超えて腹部に入ります。おへその辺りで腸骨動脈に分かれるまでが大動脈です。体の深部にありますので一般的には触るのは難しい場所になります。

その大動脈が動脈硬化が主な原因で、血管壁自体がもろく、弱くなって血管が少しずつ膨らんでしまう病気が、大動脈瘤です。高齢の方に多い病気です。症状は通常の場合、何もないのが一般的です。症状がない病気ですが、気付かずに大きくなると破裂してしまう可能性が高くなってきます。5 - 6 cmを超えてきますと一年間に破裂する確率が約7%と言われています。これくらいになると、根本的な治療を考慮しなければいけません。内科的な治療では大動脈瘤自体を小さくすることはできません。

根本的にはお腹や胸を開けて、人工血管に取り換える従来の開胸開腹手術か、あるいは新しい治療法であるステントグラフト治療を選択することになります。従来の手術はお腹や胸を開けて手術をしますので、2 - 4週間の入院を必要とし、患者さんに相応の負担はかかりますが、現在でも最も確実に主流の治療法です。一方、ステントグラフト内挿術は、足の付け根を3 cm程度切開し、太ももの動脈から、お箸程度の太さにたたんだ人工血管（ステントグラフト）をレントゲン透視を使って大動脈瘤の位置に誘導し大動脈内で折りたたみ傘を開くように膨らませて動脈瘤の破裂を予防する新しい治療法です。小さい切開で、お腹や胸を開けませんので患者さんは翌日から歩いたり、食事をしたりが可能です。早い方ですと数日で退院できます。いいことづくめのステントグラフト内挿術のようですが、動脈瘤の位置や血管の状態によっては、残念ながらこの治療が適さない方もいます。また、歴史が浅い治療ですので不明なことや、この治療に独特の合併症などもあります。治療法の決定には、造影CTを使った詳細な検討と、専門の医師との膝を交えた十分な話し合いが必要です。

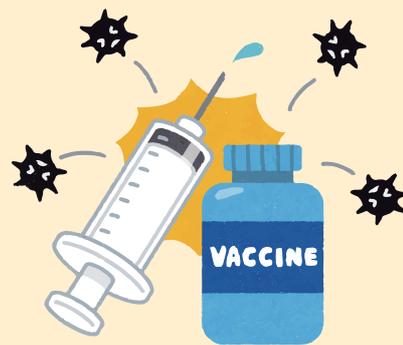


ステントグラフトの原理



肺炎球菌ワクチン

肺炎球菌とは市中肺炎(病院外での日常生活を送っていてもかかる可能性のある肺炎)の主な原因菌です。肺炎球菌にはたくさんの型があり、ワクチンですべてを予防できるわけではありませんが、ワクチンに含まれている型の肺炎球菌感染症に予防効果が期待できます。肺炎は日本人の死因の第3位¹⁾であり、肺炎で亡くなる方の約95%は65歳以上¹⁾の高齢者です。見た目は元気なようでも、加齢とともに免疫力は低下し、感染症にかかりやすくなっています。感染症にかからないようにするためには、普段からの予防がとても大切です。手洗いやマスクの着用とともに、肺炎球菌ワクチンの接種も重要な予防対策の一つです。平成26年10月から、高齢者の肺炎球菌ワクチンの定期接種制度がはじまりました。助成の有無や、助成内容、助成の時期については、お住まいの自治体によって異なる場合があります。65歳以上の方でまだ肺炎球菌ワクチンを接種されていない方は、各自治体へ問い合わせてみてください。



1) 厚生労働省. 人口動態統計(確定数) 2015年

シリーズ ● 職場紹介 ● その56

【心臓血管センターの紹介】

心臓血管センター発足1年余が経過しました。医師8名(循環器内科6名、心臓血管外科2名)と看護師、臨床工学士、理学療法士、クラーク等のコメディカルスタッフが所属します。外来部門は内科系外来の一角にあり、内科、外科の境なく、迅速に最善の診療を提供することを目的に開設しました。

対象疾患は広く、心臓、血圧および動脈系、静脈系、肺循環の疾患およびその疑いがある患者さんです。

心不全治療、冠動脈、末梢動脈や肺動脈に対するカテーテル治療、ペースメーカー等の電氣的植込みデバイス治療、不整脈に対するカテーテルアブレーション治療、開心術や血管系外科治療に加え、新たにステントグラフトによる動脈瘤治療も開始しました。カテーテルによるペースメーカー植込み術という新しい治療にも対応しています。患者さんのメリットを考慮し、電氣的植込みデバイス等の遠隔モニタリング診療にも力を入れています。

常に緊急対応できる環境を整備し、患者さんや地域の先生方に安心して利用していただける心臓血管センターを目指しています。





新任医師の紹介

(平成30年1月～4月1日)

近頃の「かかりつけ医」を持ちましょう。市立病院へ初診で来院される場合、かかりつけ医からの紹介による事前予約があると待ち時間が短縮されます。



外科
荒井 義和
(あらい よしかず)
平成18年卒業
平成30年4月1日着任
前勤務病院
信州上田医療センター



外科
高畑 周吾
(たかはた しゅうご)
平成27年卒業
平成30年4月1日着任
前勤務病院
信州大学医学部



循環器内科
平林 正男
(ひらばやし まさお)
平成22年卒業
平成30年4月1日着任
前勤務病院
篠ノ井総合病院



救急科
丹野 翔五
(たんの しょうご)
平成19年卒業
平成30年4月1日着任
前勤務病院
埼玉県立小児医療センター



呼吸器外科
富永 義明
(とみなが よしあき)
平成14年卒業
平成30年4月1日着任
前勤務病院
諏訪赤十字病院



放射線診断科
野中 智文
(のなか ともふみ)
平成26年卒業
平成30年4月1日着任
前勤務病院
信州大学医学部附属病院



形成外科
池上 みのり
(いけがみみのり)
平成13年卒業
平成30年4月1日着任
前勤務病院
信州上田医療センター



形成外科
横山 俊一郎
(よこやま しゅんいちろう)
平成27年卒業
平成30年4月1日着任
前勤務病院
信州大学医学部附属病院



消化器内科
小林 浩幸
(こばやし ひろゆき)
平成27年卒業
平成30年4月1日着任
前勤務病院
信州大学医学部



消化器内科
橋上 遣太
(はしがみ けんた)
平成27年卒業
平成30年4月1日着任
前勤務病院
信州大学医学部



外科
坂本 広登
(さかもと ひろと)
平成23年卒業
平成30年4月1日着任
前勤務病院
長野県立阿南病院



総合内科
塚田 恵
(つかた めぐみ)
平成21年卒業
平成30年4月1日着任
前勤務病院
信州大学医学部



乳腺内分泌外科
山本 佳那
(やまもと かな)
平成25年卒業
平成30年4月1日着任
前勤務病院
信州大学医学部



新生児科
塚原 孝典
(つかはら たかのり)
平成21年卒業
平成30年4月1日着任
前勤務病院
信州大学医学部附属病院



歯科口腔外科
久保 紀莉子
(くぼ きりこ)
平成26年卒業
平成30年4月1日着任
前勤務病院
長野市民病院



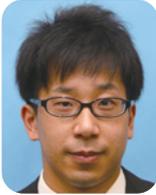
耳鼻咽喉科
小林 正史
(こばやし まさふみ)
平成23年卒業
平成30年4月1日着任
前勤務病院
信州大学医学部



眼科
高木 勇貴
(たかぎ ゆうき)
平成27年卒業
平成30年4月1日着任
前勤務病院
中京病院



初期研修医
柚木 清花
(ゆきの さやか)
平成30年卒業
平成30年4月1日着任



初期研修医
平林 瞭
(ひらばやし りょう)
平成30年卒業
平成30年4月1日着任



初期研修医
清水 海沙希
(しみず みさき)
平成30年卒業
平成30年4月1日着任



初期研修医
市川 椋
(いちかわ りょう)
平成30年卒業
平成30年4月1日着任



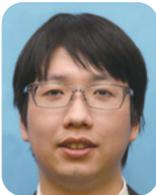
初期研修医
森田 貴裕
(もりた たかひろ)
平成30年卒業
平成30年4月1日着任



初期研修医
栗原 知弘
(くりはら かつひろ)
平成30年卒業
平成30年4月1日着任



初期研修医
小野田 凌
(おのだ りょう)
平成30年卒業
平成30年4月1日着任



初期研修医
大原 賢治
(おおはら けんじ)
平成30年卒業
平成30年4月1日着任



初期研修医
春日 麻里子
(かすが まりこ)
平成30年卒業
平成30年4月1日着任



初期研修医
加藤 斐菜子
(かとう ひなこ)
平成30年卒業
平成30年4月1日着任

あ と が き

県の統計で、飯田市の人口が10万人を割ったと報道されました。人口の減少は、小中学校の生徒数などをみても実感します。人口が少なくても、子どもから高齢者までみんな健康で、活気のあるまちでありたいですね。 編集委員 板倉 聖二